散弾実包記載例（射撃教習のみ郵送・代理申請可能）

別記様式第２号（第３条関係）

猟銃用火薬類等譲受許可申請書

令和○○年○月○日

福島県公安委員会殿

<table>
<tr><td rowspan="5">申請人</td><td>住　所</td><td colspan="5">福島県○○市○○字○○○○番地</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="5">ふくしま　いちろう</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="5">福　島　　一　郎</td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="5">昭和（平成）○○年○月○日</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td colspan="5">０２４－○○○－○○○○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">火薬類</td><td>種　類</td><td>実　包</td><td>空　包</td><td>銃用雷管</td><td>無煙火薬</td><td>黒色猟用火薬</td></tr>
<tr><td>名　称</td><td>１２番</td><td></td><td rowspan="2">個</td><td rowspan="2">グラム</td><td rowspan="2">グラム</td></tr>
<tr><td>数　量</td><td>３００個</td><td>個</td></tr>
<tr><td colspan="2">銃の種類及び適合実包（空包）</td><td>種　類</td><td colspan="2">散弾銃</td><td>適合実包（空包）</td><td>１２番</td></tr>
<tr><td colspan="2">現に保有している火薬類の数量</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="2">許可証等の番号</td><td colspan="5">□銃の所持許可証
□技能検定通知書
■教習資格認定証　　第　○○○○○○○○○○　号
□練習資格認定証
□銃の登録証　　※教習資格認定証番号を記載</td></tr>
<tr><td colspan="2">譲受目的</td><td colspan="5">射撃教習のため</td></tr>
<tr><td colspan="2">譲受期間</td><td colspan="5">○年　○月　○日から　○年　○月　○日まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">貯蔵又は保管する場所</td><td colspan="5">↑譲受期間は認定証の最終日まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費計画</td><td colspan="5">※火薬類の消費（購入）計画について、別紙を作成すること。　←射撃教習は不要</td></tr>
</table>

（裏）

備考　１　実包欄及び空包欄には、ライフル銃以外の猟銃用のものにあってはその番径、ライフル銃用又は拳銃用のものにあつてはその名称を記載すること。

２　現に保有している火薬類の数量欄には、許可申請時点において火薬庫外貯蔵している許可申請に係る火薬類の種類、名称（銃用雷管、無煙火薬及び黒色猟用火薬を除く。）及び数量を記載すること。

３　許可証等の番号欄には該当する許可証等の□内にレ印を記入し、当該許可証等の番号を記載すること。

４　譲受期間は、１年を超えないこと。

５　この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証、技能検定通知書、教習資格認定証、練習資格認定証又は銃の登録証を提示すること。また、譲受目的が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。

６　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

（証紙貼付欄）

別紙

許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備　　考

備考　１　予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。

２　予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。

３　予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。

４　備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。

５　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。